

英語のジョーク宅配便

Vol. 110 May 14, 2012

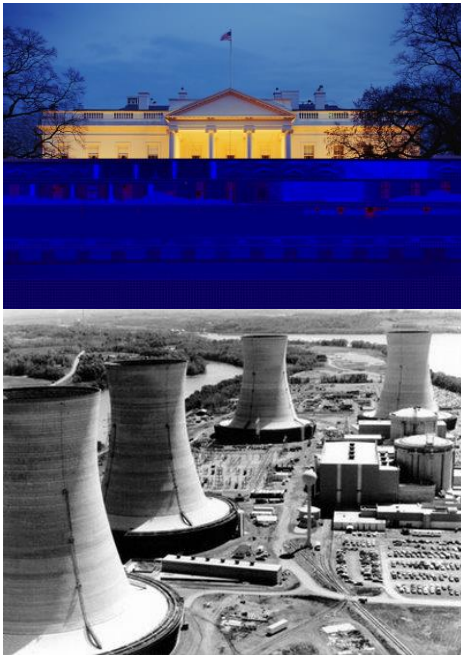
OUR MISSION STATEMENT

「人を知る最善の方法は、苦しい仕事を一緒にすることと、ジョークを言ってみること」と言います。これを「英語で発信」というのが本紙の使命で、受動から能動への一歩です。「英語のジョークを楽しむ会」が活動領域をさらに広げようという試みです。地球の一体化が益々進む時代、「英語でジョークを」は、新しい意義を加えるでしょう。

英語のジョークを楽しむ会 (Joke-Loving Club=JLC) 代表・宮本倫好

- 本紙は、原則として、毎週月曜日に配信します。
- 執筆者は右の五名の本会会員です。相原悦夫、岡田茂富、田村公雄、土屋政雄、豊田一男

□ ■ **本日のお届け品:** 核廃棄物の廃棄場所



“The politicians in Washington want us to believe that nuclear waste is perfectly safe, so long as we’re careful where we put it.”

“No problem. Let’s put it under the White House.”

【語句と和訳】

so long as ～ 「～である限りは」

「ワシントンの政治家は核廃棄物は、どこに埋めるかに注意しさえすれば、全く安全だと信じさせたがっている」「そんなこと何でもないよ。ホワイトハウスの下に埋めればいい」

【笑いのツボ】

説明の余地がないジョーク (?)

- 担当は、豊田一男でした。